

平成23年度

事業報告書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

一般社団法人日本オーディオ協会

平成 23 年度事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル(以下オーディオ等)に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・ハード・出版物の制作・販売等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成 23 年 4 月 1 日付けで一般社団法人への移行を完了し、新定款に基づき理事会機能の強化、各種委員会機能の強化、事務局機能の強化を図ることで普及・啓発活動を推進しました。平成 23 年度に実施した主たる事業は、定款第 4 条各号に沿った通りであります。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

デジタルホームシアター普及委員会において一般家庭におけるマルチチャンネルスピーカー配置の実態調査をもとに専門家による音場評価を加えることで日本市場に合ったホームシアターの為の音響的評価基準の研究を進め、音響学会で発表しました。

(第 2 号) オーディオ等に関する普及及び啓発

5 月 1 日の「サラウンドの日」に(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) と協力し各地の会員各社のショールーム等で「サラウンドの日」体感視聴会を開催しました。「音の日」には「音の匠」の顕彰を通じて音の世界の素晴らしさを認識していただくための活動を行いました。「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO (音展)」では協会主催の各種セミナーや生録会を実施しました。音展期間中「音のサロン」では良い音楽を良い再生環境で楽しむためのライフスタイル提案を行ないました。また、音展会場で青少年向けの啓発活動と生録会を開催しました。

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

第三世代オーディオ普及委員会ではモバイルオーディオ推進協議会 (MAPI) を通じて携帯端末やスマートホンを使って家庭用オーディオ機器で音楽再生を行なうときの問題点の検討に活用する基準信号の配信を開始しました。

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

会報 JAS ジャーナルを隔月で 6 冊発行しました。JAS ホームページでは JAS ジャーナルの配信を含めて年間約 40 万ページビューの利用がありました。ホームシアターサウンド Web はホームシアター普及に向けより具体的な情報を提供するサイトとして運営し、年間約 45 万ページビューの利用がありました。

(第 5 号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」(音展)を平成 23 年 10 月 21 日～23 日に秋葉原 UDX と富士ソフトアキバプラザにて開催し、多くの方々にオーディオ等の最新情報の提供や視聴体験機会、セミナーを実施しました。

(第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売従事者、建築士、インテリアコーディネーター、インストラクター等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成のための「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座を開催し、平成 22 年度に続き、平成 23 年度には 4 回開講し延べ 61 名の合格者を認定しました。

(第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

第 18 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、最優秀 4 作品と優秀 6 作品の合計 10 作品の録音エ

ンジニアとベストパフォーマーを「音の日」に表彰しました。

(第8号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つCD、DVD等の販売を行いました。

なお震災に見舞われた学校関係者の方々へのご支援として文部科学省と連携して会員企業の方々から提供していただいたオーディオ機器、音楽CDを被災された学校・団体に提供して教育や課外活動に活用していただきました。

また平成24年の協会創立60周年に向け60周年記念事業検討委員会と中期事業計画検討委員会を立ち上げました。

平成23年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究 (定款第4条第1号)

※ デジタルホームシアター普及委員会活動 (鈴木弘明 委員長ほか20名)

- ・日本の一般家庭におけるマルチチャンネルスピーカー配置の実態調査をもとに専門家による音場評価を加えることで日本市場にあったホームシアターの音響的評価体制を構築する研究を進め音響学会で発表を行った。また映像調整用ソフト (BD) と音響調整用ソフト (USB) を新規に開発し、認定講座受講生のスキルアップに活用できるようにした。

2. オーディオ等に関する普及及び啓発 (定款第4条第2号)

(1) 「音の日」記念行事 (「音の日」実行委員会 森 芳久 委員長 ほか9名)

※ 「音の日」実行委員会開催経緯 (3回開催)

8月11日、9月8日、10月12日

※ 主要活動内容

- ・第16回「音の匠」の選定および顕彰式の企画ならびに「音の日」行事の監修を行った。

・第16回「音の匠」顕彰式

12月6日 (月) 湯島 東京ガーデンパレス 天空の間 参加 50名

本年度の「音の匠」は日本古来の尺八のさらなる普及の為、容易に入手可能な素材のノブレ管に新技術によるコーティング処理を施すことで竹製の尺八に近い音色を持つ楽器を開発し、小・中学生、初心者など多くの方々へ尺八本来の音色を体験してもらうことで尺八の普及活動を続けて来られた三橋貴風氏を顕彰した。電波新聞社社長平山哲雄氏より受賞者に記念品が贈呈された。

・「音の日のつどい」パーティ

12月6日 (月) 湯島 東京ガーデンパレス 高千穂の間 参加 150名

音の匠、日本プロ音楽録音賞受賞者を祝し、交流パーティを日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストの共催で実施。

(2) デジタルホームシアター普及委員会 (鈴木弘明委員長ほか20名)

※ 委員会開催経緯 (11回開催)

4月11日、5月17日、7月6日、8月9日、9月6日、10月12日、11月7日、12月14日、
1月17日、2月13日、3月13日

※ 主要活動内容

- ・ホームシアター市場の健全な普及に向け、「取扱技術者資格認定講座」を実施し、適切な技能を持った技術者の養成を行うためのカリキュラムの策定や教材の検討を行った。

・オーディオ&ホームシアター展において10月21日、23日に協会セミナーを実施。

あなたのリビングルームがホームシアターに～音と映像を10倍楽しむ～

ホームシアターを徹底して楽しむ ～音と映像をとことんチューニング～

(3) サラウンドサウンド部会 (小谷野進司 主査 ほか12名)

※ 部会開催経緯 (12回開催)

4月13日、5月13日、6月13日、7月13日、8月8日、9月16日、10月11日、11月9日、
12月16日、1月19日、2月14日、3月16日

※ 主要活動内容

・「サラウンドの日」関連行事

4月23日～5月31日にJEITAとの共催で会員各社の協力を得て「サラウンドの日」体感視聴会を開催。13社、団体が参加し全国17ヶ所で視聴会を実施し、約5,000人の方にサラウンドサウンドの素晴らしさを体験していただいた。

・サラウンドサウンドのさらなる普及を目指し、JEITAと共同でホームシアターサウンドサイトを運営、年間約45万ページビューがあった。

(4) 第三世代オーディオ普及委員会 (君塚雅憲 委員長ほか12名)

※ 委員会開催経緯 (4回開催)

4月8日、4月22日、5月20日、1月20日

※ 主要活動内容

・ネット配信と携帯端末の高音質化に対応したオーディオの楽しみ方の将来展望について検討し、オーディオ&ホームシアター展において協会テーマブースでMAPI、PC/USBオーディオ、ネットワークオーディオの展示試聴を行い新しい音楽の楽しみ方について提案した。

(5) モバイルオーディオ推進協議会 (MAPI) (校條亮治 会長ほか10名)

※ 委員会、部会開催経緯 (5回開催)

5月2日、6月1日、6月20日、7月7日、9月1日

※ 主要活動内容

・オーディオ&ホームシアター展においてMAPIコーナーとしてBT/携帯を使った試聴体験コーナーを設置。多くの方に携帯端末による家庭用オーディオ機器を使った高音質音楽配信の体験をしていただき、BTの音楽用端末としての可能性を知っていただいた。

・JASホームページにモバイルオーディオチェックコンテンツサイトを設け基準音源と音質評価用のコンテンツを用意した。これにより携帯電話やスマートホンを利用してオーディオ機器の音質評価や測定ができるようになった。

(6) 生録普及委員会 (徳重 浩 委員長 ほか9名)

※ 委員会開催経緯 (6回開催)

4月5日、5月18日、6月17日、7月15日、9月28日、1月28日

※ 主要活動内容

・10月22日「オーディオ&ホームシアター展」にて生録会開催。
生録参加 58名、試聴参加者 60名 (出演者) 朱雀 ~suzaku~

(7) オーディオ&ホームシアター展における協会主催イベント

・ 工作教室 10月22日、23日開催

デジタルオーディオアンプをつくろう

高級オリジナルイヤホンを組み立てよう

カラオケマシーンを作ろう

紙コップスピーカーを作って音の勉強をしよう

・音のサロン 10月21日、22日、23日開催

最新高音質配信音楽を聴く

アナログレコードでジャズの名演を聴く

音楽ジャンル別試聴会
PC オーディオの色々試聴会
DSD ダイレクト録音を真空管アンプで聴く
各高音質ディスクの聴き比べ
一足早いプロ音楽録音賞ノミネート作品特別試聴会
楽しいクラシック・ディスクコンサート
価格別コンボの魅力を探る

(8) 青少年向け普及活動

・子供のころから音に親しみオーディオに関心を持ってもらう目的で、主催団体と連携した普及活動を実施した。

- ・オーディオ&ホームシアター展 10月23日
紙コップスピーカーを作って音の勉強をしよう
協力 パイオニア株式会社

(9) 専業部会 (高松 重治 部会長 ほか10名)

※ 専業部会 (8回開催) 4月26日、6月2日、7月5日、7月29日、9月29日、12月1日、
2月3日、3月7日

※ 音のサロンWG (5回開催) 4月21日、5月26日、7月1日、1月12日、2月14日

※ PCオーディオWG (5回開催) 4月22日、5月17日、5月31日、1月24日、2月17日

※ 主要活動内容

- ・ 家庭において「良質の音楽をより良い再生環境で楽しむ」ためのライフスタイルの再構築に向けた効果的普及啓発活動の検討と具体案づくりを進めた。
- ・ オーディオ&ホームシアター展 音のサロン 10月21日、22日、23日
- ・ PCオーディオ入門講座 3月17日

(10) ソフト普及委員会 (穴澤 健明 委員長 ほか14名)

※ 委員会開催経緯 (2回開催) 7月8日、1月20日

※ 主要活動内容

- ・ オーディオ&ホームシアター展 音のサロンで選定ソフトによる試聴会を実施
10月21日～23日

3. オーディオ等に関する基準の作成 (定款第4条第3号)

※ 第三世代オーディオ普及委員会活動 (君塚雅憲 委員長 ほか12名)

- ・ 第三世代オーディオ普及委員会はモバイルオーディオ推進協議会 (MAPI) の主力メンバーとして携帯端末やスマートフォンからBluetoothを活用して家庭用オーディオ機器で音楽再生を行なうときの問題点の調査・検討に活用するためのJASホームページによる基準信号配信を始めた。

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供 (定款第4条第4号)

(1) 会誌の発行とホームページによる情報提供

会誌「JAS ジャーナル」を平成23年5月23日、7月15日、9月21日、11月28日、平成24年1月27日、3月23日に刊行した。

* 編集委員会開催経緯 (4回開催) (君塚雅憲委員長ほか 9名)

開催日: 6月15日、9月12日、12月21日、3月15日

・ JAS ジャーナルの主なテーマ

平成23年5月号 音楽パッケージメディアの現状と今後 ほか合計7件

- 平成 23 年 7 月号 「2011 年サラウンドの日体感視聴会報告」ほか合計 7 件
- 平成 23 年 9 月号 特別インタビュー「最近の音楽ソフトの状況について」ほか合計 6 件
- 平成 23 年 11 月号 「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」終了にあたってほか 5 件
- 平成 24 年 1 月号 「音の匠 三橋貴風氏 (尺八奏者) のご紹介」ほか 14 件
- 平成 24 年 3 月号 「第三世代オーディオ普及委員会の活動と課題」ほか 4 件

(2) 協会ホームページの運用 (<http://www.jas-audio.or.jp/>)

JAS ジャーナル 6 冊の記事 (全 315 ページ) と 50 件のイベント紹介等のトピックスニュースを掲載し、年間約 40 万ページビューの利用があった。

(3) ホームシアターサウンドホームページの運用 (<http://hometheater-s.jp/>)

ホームシアターユーザー開拓に向けてより分かり易いホームシアターの提案を行なうサイトとしてサラウンドサウンド部会と JEITA サラウンドサウンド専門委員会が協力して運用し、年間約 45 万ページビューの利用があった。

5. オーディオ等に関する展示会の開催 (定款第 4 条第 5 号)

※ オーディオ&ホームシアター展 の開催

・平成 23 年 10 月 21 日～23 日の 3 日間、昨年に引き続き秋葉原 UDX アキバスクエアと、富士ソフトアキバプラザにおいて「オーディオ&ホームシアター展」を開催した。秋葉原 UDX 会場は総合展示場として富士ソフトアキバプラザ会場は試聴会場として 5～7 階を使用し、出展企業のオーディオ・ビジュアル最新情報と機器が披露された。

オーディオ協会主催イベントとして「デジタルホームシアターセミナー」、「音のサロン」、「生録会」、「工作教室」等の開催と、協会主催ブースとして「PC オーディオ」、「ネットワークオーディオ」、「USB オーディオ」、「配信オーディオ」といった、最新オーディオ情報と機器を展示してオーディオ・ホームシアターの普及・啓発活動を行なった。

・「オーディオ&ホームシアター展」出展社及び来場者

出展社：75 社 協賛・協力社数：26 社・団体 来場者数：26,600 人

・実行委員会 (8 回開催) (実行委員会 西 國晴 委員長 ほか 委員 10 名)

4 月 1 日、5 月 19 日、6 月 16 日、7 月 12 日、10 月 14 日、11 月 29 日、2 月 28 日、3 月 9 日

- ・出展社募集説明会 4 月 7 日 34 社 36 名出席
- ・ホームページ運用開始 4 月 11 日
- ・展示装飾説明会 7 月 22 日 28 社 34 名出席
- ・記者発表会 7 月 22 日 25 社 35 名出席

6. オーディオ等に関する人材の育成 (定款第 4 条第 6 号)

※ 「デジタルホームシアター取り扱い技術者資格認定制度」集中講座の実施

・ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売店員、建築士、インテリアコーディネーター、インストラクター等を対象に「取扱技術者資格認定講座」を実施

インストラクターコース(基礎講座)	平成 24 年 1 月 25 日、26 日
スペシャリストコース (基礎、応用講座)	平成 23 年 4 月 15 日～17 日
	平成 23 年 10 月 25 日、26 日
	平成 24 年 2 月 22 日～24 日

・平成 22 年 9 月の講座開始から平成 24 年 3 月までに延べ 61 名を認定した。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力 (定款第 4 条第 7 号)

(1) 日本プロ音楽録音賞の共催

第 18 回日本プロ音楽録音賞を日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演

奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共催で実施した。70 作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀 4 作品と優秀 6 作品の合計 10 作品の録音エンジニアとベストパフォーマーの受賞者を音の日の 12 月 6 日 湯島 東京ガーデンパレスにて表彰した。

※「第 18 回日本プロ音楽録音賞」受賞作品一覧

○部門A 「2ch パッケージメディア」クラシック、ジャズ等 応募総数 27 作品

- 最優秀賞 「Romance with me」(COCB-53964) より「CHAIN REACTION」/SHANTI
日本コロムビア(株)
- 最優秀賞 「マーラー：交響曲 第 2 番「復活」」(OVCL-00434) より「5 Im Tempo des Scherzos」
/エリアフ・インバル指揮 東京都交響楽団 (株)オクタヴィア・レコード
- 優秀賞「SCENES」(PCCY-30176) より「P. S. I Love You」/小林 桂
(株)ポニーキャニオン

○部門B 「2ch パッケージメディア」ポップス、歌謡曲等 応募総数 23 作品

- 最優秀賞 「ハダカ DE 音頭〜祭りだ!!Naked〜」(VICL-37500) より「ハダカ DE 音頭
〜祭りだ!!Naked〜」/桑田佳祐 ビクターエンタテインメント(株)
- 優秀賞 「JUNKWAVE」(MICL-70003) より「はじまりはクリスマス」/JUNK FUJIYAMA
Mil Music
- 優秀賞 「to the nines」(VICL-63669) より「dressed up to the nines」
/paris match ビクターエンタテインメント(株)

○部門C サラウンドパッケージメディア(マルチch) 応募総数 4 作品

- 最優秀賞 今年度対象作品該当なし
- 優秀賞 「ショパン：ピアノ協奏曲第 1 番・第 2 番」(COGQ-49)より「ピアノ協奏曲第 1 番
ホ短調 作品 11 I-Allegro maestoso」/仲道郁代(ピアノ)、有田正広(指揮)、クラシカル・
プレイヤーズ東京 日本コロムビア(株)

○部門D「放送メディア」放送作品部門 応募総数 16 作品

- 最優秀賞 「ABCフレッシュコンサート」より「プロコフィエフ ピアノ協奏曲第 3 番 ハ長調 op. 26
第 2 楽章」/指揮：現田 茂夫 ヴァイオリン：松本 紘佳 ピアノ：栗田 奈々子
大阪センチュリー交響楽団 朝日放送株式会社 HDTV 5.1ch 2011 年 3 月 19 日放送
- 優秀賞 「SONGS」より「フィジカル」/オリビア・ニュートン・ジョン
NHK HDTV stereo 2010 年 11 月 10 日放送
- 優秀賞 「いのちのうた 2011〜つなげよう いのちの絆〜」より「時をこえ」/HY
NHK HDTV 5.1ch 2011 年 8 月 6 日放送

○ ベストパフォーマー賞

- 「惑星 ULTIMATE EDITION」(COGQ-51) より「火星 Mars」/冨田勲
日本コロムビア(株)

○ アビット賞

- 「THE BEST OF TARO HAKASE」 (HUCD10097～8) より 「Etupirka with Friends」 / 葉加瀬太郎
(株)ハッツ・アンリミテッド

○ SSL 賞

- 「SUPER BEST FUYUMI SAKAMOTO」 (TOCT-27094) より 「百年先も手を取りながら」 / 坂本冬美
(株)EMI ミュージック・ジャパン

(2) 後援・協賛名義の使用承認

- ・ 第 17 回真空管オーディオフェア ・ オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ 2012
- ・ CEATEC JAPAN 2011 ・ JPCA show 2011/2011 マイクロエレクトロニクスショー

8. オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

※ オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video 等の販売を行った。

- ・ 平成 23 年度頒布数合計：133 枚
- ・ 主な内訳

CD-1 Audio Test 107 枚、DVD-V1 Audio Check(DVD) 13 枚、MLAS-1001～2 1 枚、
COGQ-28 3 枚、COCQ-84695 3 枚、AES 001～003 6 組

9. 総務事項

(1) 通常総会

日時：平成 23 年 6 月 9 日 (木) 13:30～15:00

場所：東京中央区 銀座ブロッサム

出席者数：正会員 261 名 (委任状出席者を含む)

議事： 第 1 号議案 平成 22 年度事業報告・決算報告ならびに監査報告の承認を求める件
平成 23 年度事業計画・収支予算の承認を求める件

第 2 号議案 役員交代の承認を求める件

第 3 号議案 定款変更の承認を求める件

(2) 理事会

- ・ 日時：平成 23 年 5 月 25 日 (水) 14:00～16:00

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：13 名

- ・ 日時：平成 23 年 9 月 14 日 (水) 14:00～15:30

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：11 名

- ・ 日時：平成 23 年 12 月 6 日 (火) 13:30～13:45

場所：文京区湯島 東京ガーデンパレス

出席者数：11 名

- ・ 日時：平成 24 年 2 月 1 日 (水) 15:00～16:30

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：13 名

(3) 運営会議

第 1 回 日時：平成 23 年 5 月 25 日 (水) 16:00～17:00

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：13 名

- 第2回 日時：平成23年6月9日（木）15:00～15:30
場所：中央区銀座 銀座ブロッサム 出席者数：10名
- 第3回 日時：平成23年9月14日（水）15:30～17:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：11名
- 第4回 日時：平成23年12月6日（火）13:45～15:30
場所：湯島 東京ガーデンパレス 出席者数：11名
- 第5回 日時：平成24年2月1日（水）16:30～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：13名
- (4) 役員推薦委員会（役員改選に向けた役員案を理事会に提案。 齋藤 重正 委員長ほか4名）
平成24年2月17日（金） 9:30～11:00 5名
平成24年3月19日（月） 15:00～17:00 5名
- (6) 監事監査
日時：平成23年5月19日（木）14:00～16:00
場所：日本オーディオ協会会議室
- (7) 登記事項
平成23年7月14日 役員登記
- (8) 平成23年度の会員数（平成24年3月31日現在）
正会員 ；法人正会員 27社（うち団体7団体）、個人正会員 365名
賛助会員 ；法人賛助会員 22社、個人学生会員 3名
- (9) 平成23年度の役員数（平成24年3月31日現在）
理事 20名（うち会長兼専務理事 1名、副会長 2名）、監事 2名
- (10) 平成23年度の職員数（平成24年3月31日現在）； 4名（うち業務委託 2名）
- (11) 表彰等
1. 音の匠
「音の匠」三橋貴風氏を顕彰
 2. 日本プロ音楽録音賞
最優秀4作品と優秀6作品の合計10作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを表彰
- (12) 音の日のつどい
日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共同で実施
平成23年12月6日（火） 湯島 東京ガーデンパレス
参加 150名
- (13) 一般社団法人移行手続き。
平成23年9月5日 公益目的財産額確定
- (14) 中期事業計画検討委員会（校條 亮治 会長ほか13名）
全体会議 11月1日、12月21日、
財政・組織WG 1月25日
技術・事業WG 1月30日、2月20日、3月12日
- (15) 60周年記念事業検討委員会（森 芳久 委員長ほか10名）
8月11日、9月13日、10月28日、11月16日、3月1日

以 上